

施策評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	044	学習機会の提供と環境づくりの推進				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	基本施策	04	生涯にわたる学習活動の推進			
めざす姿	市民と行政が協働してつくりあげた学習の場や多様な学習機会を通じ、高齢者の社会参加や世代を超えた地域交流活動が行われ、「学び返し」により地域教育力が向上しています。 また、ボランティア人材の発掘と育成を行うことで、学習した成果を活かしながら市との協働で生涯学習に関する取組が行われています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	311,102,000	319,191,000	505,864,000	534,974,000	324,303,000	276,453,000
国庫支出金	0	0	27,291,000	0	0	0
都支出金	138,000	138,000	68,162,000	1,534,000	1,651,000	1,534,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	51,000,000	100,000,000	56,940,000	94,481,000	0	0
一般財源	259,964,000	219,053,000	353,471,000	438,959,000	322,652,000	274,919,000
予算現額	313,595,000	326,375,000	505,922,000	533,674,000	324,618,000	0
決算額	311,121,666	319,307,424	502,771,747	512,409,097	321,725,129	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	77,000	55,000	51,565,000	1,611,000	1,448,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	140,400	0	0	0	0
一般財源	311,044,666	319,112,024	451,206,747	510,798,097	320,277,129	0
執行率	99.2	97.8	99.4	96.0	99.1	0.0
(人件費)						
職員数	6.71	5.90	5.66	5.06	5.42	0.00
職員人件費	53,620,745	44,926,942	44,059,479	39,391,103	41,598,948	0
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	0
(間接経費)						
間接経費	1,275,242	1,296,578	1,460,058	1,263,245	1,484,097	0
総コスト	366,017,653	365,530,944	548,291,284	553,063,445	364,808,174	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
各種セミナーへの参加人数	21,307	実績	60,233	60,917	64,808	65,483	30,000
	人	達成率	200.8	203.1	216.0	218.3	
生涯学習センターの利用者満足度	-	実績	70	74	94	91	90
	%	達成率	77.8	82.2	104.4	101.1	
生涯学習フェスティバルへの延べ参加人数	9,814	実績	10,735	11,135	11,370	12,510	12,000
	人	達成率	89.5	92.8	94.8	104.3	
青少年音楽祭への延べ参加人数	3,370	実績	3,719	3,442	3,637	3,571	3,700
	人	達成率	100.5	93.0	98.3	96.5	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

- ・各種セミナーへの参加者数は、学習講座、スポーツ講座の合算。指定管理者の運営になってから講座開講数そのものが激増している。
- ・利用者満足度は、指定管理者が毎年度末に独自調査する利用者アンケート結果に基づく。4段階評価の上位2つ「満足している」、「やや満足している」とした人の割合を合算したもの。高水準と評価している。
- ・生涯学習フェスティバルの延べ参加者数は、前年を上回り、基準値も上回っている。
- ・青少年音楽祭への延べ参加人数は基準値を上回っており、今後も維持・向上できるよう周知に努めていく。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標以上に進んでいる	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている
達成できている点	指定管理者の行うセミナーは、利用者の支持が得られ、受講者が増えている。直営時には赤字であった講座運営も特にスポーツ講座は収益を生むまでになった。生涯学習フェスティバルは、実行委員方式に移行後、実行委員の熱意により内容の充実・来場者の増加につながっている。	指定管理者の行うセミナーは、利用者の支持が得られ、受講者が増え、スポーツ講座は順調に収益をあげている。生涯学習フェスティバルは、実行委員方式に移行後、実行委員の熱意により内容の充実・来場者の増加につながっている。	天井改修工事の一部施設の部分休館があったが、指定管理者の講座が順調だったため、セミナー参加者は増加している。生涯学習フェスティバルは、実行委員方式に移行後、実行委員の熱意により内容の充実・来場者の増加につながっている。	指定管理者の行うセミナーは、利用者の支持が得られ、受講者は順調に増加している。生涯学習フェスティバルは、実行委員方式に移行後、実行委員の熱意により内容の充実・来場者の増加につながっている。
達成できていない点	生涯学習センターの長期的な維持管理・修繕の計画が立っておらず、学習環境の維持が困難となっている。	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の計画が立っておらず、学習環境の維持が困難となっている。	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の計画が立っておらず、学習環境の維持が困難となっている。	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の計画が立っておらず、学習環境の維持が困難となっている。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

生涯学習審議会は平成15年度にそれまでの社会教育委員の会議、公民館運営審議会、生涯学習推進協議会を統合して発足した。市の生涯学習施策について教育委員会に答申をし、成果を挙げている。

公民館事業は、文化生涯学習課と地域コミュニティ課で業務を分担しながら実施し、地域での学習機会の提供の役割を担っている。講座の講師に地元の知識経験者を採用するなど市民協働事業として、また学び返しの実践の場として成果を上げている。

心身障害児・者余暇活動支援事業は、主に知的障害のある方を対象とした社会教育事業であり、社会教育・生涯学習の機会を提供するとともに、市民ボランティアが企画・運営を担うことで障害のない人がある人と交流を深める学習活動としても成果を挙げている。

生涯学習機会創出事業は、生涯学習センターの管理運営と講座等の事業運営を通して市民に機会を提供しているものであり、平成25年度からの指定管理者制度移行で、サービス水準の向上と収支の改善を両立して実現している。

生涯学習フェスティバルは、平成21年度からの実行委員会委託により運営しているが、市と実行委員会、指定管理者の3者協働が徐々に実を結び、市民の学習活動の成果の発表の場というだけではなく、生涯学習センターの価値を高め、紹介する場としてのイベントへと変わってきている。

青少年音楽祭は、市内で活動する青少年音楽団体を対象に参加を募り、2日間にわたり合奏の部及び合唱の部に分け、日頃の練習の成果を発表する事業である。平成29年度は合奏の部が22団体、合唱の部が13団体、合計35団体が参加し過去最多の出演団体数となった。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

国の方針として社会教育部門が、学校教育及び家庭教育を担う保護者と連携することを求めており、そうした風土や気運を醸成しながら事業を絶えず見直しして実施していく必要がある。

また、生涯学習センターの老朽化が進行しており、適切な維持管理・改修工事等を実施して施設の長寿命化を図らなければならない。

青少年音楽祭は、毎年多くの青少年音楽団体が参加しており、ニーズの高い事業であるが、観覧者の多くが出演者の関係者であるため、関係者以外の観覧者を増やしていきたい。

今後の展開

生涯学習機会創出事業は、持続可能な施設維持のために「手数料・使用料の見直しに関する基本方針」等の考え方を踏まえ、公民館や生涯学習センターの一部施設について平成31年1月から使用料及び使用料の減免基準等を改定する。家庭教育学級などその他の事業については、生涯学習審議会の意見を踏まえ、地域人材の発掘や活用を拡充するとともに「学び返し」の実践を推進していく。

青少年音楽祭は、出演関係者以外の多くの方に観覧していただけるよう広報等を工夫していく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生涯学習フェスティバル運営事業	市民による実行委員会を設置し、市民参加を進めるとともに、生涯学習フェスティバルの一層の活性化を図る。	市民による実行委員会を設置し、市民参加を進めるとともに、生涯学習フェスティバルの一層の活性化を図る。	市民による実行委員会を設置し、市民参加を進めるとともに、生涯学習フェスティバルの一層の活性化を図る。	市民による実行委員会を設置し、市民参加を進めるとともに、生涯学習フェスティバルの一層の活性化を図る。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
所管部署	生涯学習センターにとって最大のイベントを盛り上げるため、新しい構想が次々と実現しており、それに伴い参加者も増えている。	生涯学習センターにとって最大のイベントを盛り上げるため、新しい構想が次々と実現しており、それに伴い参加者も増えている。	生涯学習センターにとって最大のイベントを盛り上げるため、新しい構想が次々と実現しており、それに伴い参加者も増えている。	生涯学習センターにとって最大のイベントを盛り上げるため、新しい構想が次々と実現しており、それに伴い参加者も増えている。
文化スポーツ部 文化生涯学習課	生涯学習センターにとって最大のイベントを盛り上げるため、新しい構想が次々と実現しており、それに伴い参加者も増えている。	生涯学習センターにとって最大のイベントを盛り上げるため、新しい構想が次々と実現しており、それに伴い参加者も増えている。	生涯学習センターにとって最大のイベントを盛り上げるため、新しい構想が次々と実現しており、それに伴い参加者も増えている。	生涯学習センターにとって最大のイベントを盛り上げるため、新しい構想が次々と実現しており、それに伴い参加者も増えている。
事業種別	市・実行委員会・指定管理者の3者連携による企画運営がうまくいっている。	市・実行委員会・指定管理者の3者連携による企画運営がうまくいっている。	市・実行委員会・指定管理者の3者連携による企画運営がうまくいっている。	市・実行委員会・指定管理者の3者連携による企画運営がうまくいっている。
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	4,240			
生涯学習機会創出事業	▼生涯学習センターにおいて民間事業者である指定管理者のノウハウを活かし、講座の多様化及び数的増加を図りサービスの向上と経費の削減を両立する。 ▼生涯学習ファシリテーター等の生涯学習の担い手となる市民を養成し、市民協働を進める。	▼生涯学習センターにおいて民間事業者である指定管理者のノウハウを活かし、講座の多様化及び数的増加を図りサービスの向上と経費の削減を両立する。 ▼生涯学習ファシリテーター等の生涯学習の担い手となる市民を養成し、市民協働を進める。	▼生涯学習センターにおいて民間事業者である指定管理者のノウハウを活かし、講座の多様化及び数的増加を図りサービスの向上と経費の削減を両立する。 ▼生涯学習ファシリテーター等の生涯学習の担い手となる市民を養成し、市民協働を進める。	▼生涯学習センターにおいて民間事業者である指定管理者のノウハウを活かし、講座の多様化及び数的増加を図りサービスの向上と経費の削減を両立する。 ▼生涯学習ファシリテーター等の生涯学習の担い手となる市民を養成し、市民協働を進める。
【進捗状況】	目標以上に進んでいる	【進捗状況】 目標以上に進んでいる	【進捗状況】 目標以上に進んでいる	【進捗状況】 目標以上に進んでいる
所管部署	生涯学習センターは指定管理者制度に移行したことで大幅に各種セミナーが充実し、延参加者数は平成29年度目標値の倍以上となっている。	前年度に引き続き各種セミナーが充実しており、特にスポーツ系のセミナーが人気で、延参加者数は前年度を上回っている。	前年度に引き続き各種セミナーが充実しており、セミナーの延参加者数は前年度を上回っている。	前年度に引き続き各種セミナーが充実しており、セミナーの延参加者数は前年度を上回っている。
文化スポーツ部 文化生涯学習課				
事業種別				
重点プロジェクト				
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,137,896			
【進捗状況】		【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 生涯学習審議会運営事業	10		1,423,000	1,485,391	1,333,000	府中市における生涯学習の方向性などの検討。	B	1
2 公民館事業運営事業	20		4,083,000	3,867,486	3,936,000	社会教育法に基づき、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	B	1
3 心身障害児・者余暇学習支援事業	30		1,494,000	1,282,618	1,480,000	知的障害のある18歳以上及び特別支援学校等の生徒を対象に、社会教育の機会と場を提供する。	B	1
4 生涯学習機会創出事業	30		314,737,000	312,566,853	268,081,000	生涯学習センターの管理運営（講座等の運営含む）・生涯学習ボランティア等生涯学習振興の担い手	B	1
5 青少年音楽祭運営事業	30		1,596,000	1,555,178	1,623,000	青少年音楽祭の開催	B	1
6 生涯学習フェスティバル運営事業	30		970,000	967,603	0	市民作品展示、市民発表会、サウンドフェスティバル、ワークショップ、特別講演会ほか全館をあげ	B	1
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			324,303,000	321,725,129	276,453,000			

施策評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	045	図書館サービスの充実				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			担当部署課名	文化スポーツ部 図書館
	基本施策	04	生涯にわたる学習活動の推進			
めざす姿	図書館で収集、整理、保存されている図書や視聴覚資料などの情報が提供されることで、市民は生涯にわたる自主的な学習機会を得て、市民生活を営む上で必要な知的・文化的な情報を十分に受けています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	743,566,000	759,825,000	756,176,000	757,126,000	763,175,000	765,067,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,757,000	1,666,000	1,689,000	1,741,000	1,507,000	1,522,000
一般財源	741,809,000	758,159,000	754,487,000	755,385,000	761,668,000	763,545,000
予算現額	743,566,000	760,206,000	756,184,000	757,126,000	763,427,000	0
決算額	738,194,984	758,274,840	751,963,561	748,710,831	761,187,200	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,666,208	1,742,739	1,778,871	1,776,541	1,442,375	0
一般財源	736,528,776	756,532,101	750,184,690	746,934,290	759,744,825	0
執行率	99.3	99.7	99.4	98.9	99.7	0.0
(人件費)						
職員数	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	0.00
職員人件費	175,832,096	167,502,610	171,407,346	171,435,066	168,995,728	0
嘱託員数	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00	0.00
嘱託員人件費	55,047,309	56,962,291	55,581,211	54,700,169	53,046,800	0
(間接経費)						
間接経費	3,298,061	3,136,593	3,264,261	3,485,020	3,146,425	0
総コスト	972,372,450	985,876,334	982,216,379	978,331,086	986,376,153	0

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
市民1人当たり年間貸出数	10.2	実績	9.1	9	8.6	8.1	12
	点	達成率	75.8	75.0	71.7	67.5	
図書館資料貸出し利用者数	870,528	実績	798,873	796,099	759,240	713,100	1,000,000
	人	達成率	79.9	79.6	75.9	71.3	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

市民一人当たり年間貸出数及び図書館資料貸出し利用者数について、基準値には及ばないが、貸出業務だけでなく、学校からの要請によるブックトークやおはなし会に出向き、本に親しんでもらえるように取り組んでいく。

4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	やや遅れているが、概ね順調
達成できている点			インターネット予約数は伸びてきている。また、おはなし会等への参加者は定着してきており、コンスタントに推移している。	インターネット予約数の割合が増えてきている。おはなし会や学級貸出等は、年ごとでは多少の増減はあるものの、ある一定の実績で推移している。
達成できていない点	貸出数、利用者数ともに、目標値には達成できていないが、学校からの依頼により、おはなし会やブックトーク等に出向き、本に親しんでもらえるよう働きかけられている。	貸出数、利用者数ともに微減であるが、インターネット予約や学習室利用の増加を鑑みると、図書館サービス運営は順調である。市内中学生及び市内都立高校生に中央図書館のYA（ヤングアダルト）ルームやYAコーナーのPRをし、利用促進に努めている。	インターネット予約数の増加傾向のためか、来館者数に減少傾向が見られる。そのため、貸出数にも同様の傾向が見られる。	貸出数、利用者数ともに減少傾向が続いており、指標実績からは、目標値の達成は難しい状況である。関係各課との連携した事業をもっと増やしていきたい。

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>平成19年度に完成した中央図書館は、PFI方式により建設し、PFI事業者の一部管理運営を委託している。PFI事業者の実施する事業（講習会、朗読会やビジネス支援講座等）とともに、市で実施する各講座、講演会のほか、テーマ展示等を行い、本に親しんでもらえる取組を実施した。平成29年度に実施した図書館情報システム更新と同時期にホームページのリニューアルを図ることで、検索機能の充実とともにインターネット予約の利用を促進できた。同年8月からは、市政情報センターでの図書取次を開始した。</p> <p>また、平成25年度から始まった第3期府中市子ども読書活動推進計画に基づき、図書館の資料の充実、来館する児童・生徒への資料提供や調べ物の協力、学校との連携等により、読書の推進を図ってきたが、同計画期間が平成29年度で終了することから、引き続き、子どもの読書活動の総合的かつ計画的な推進を図るため、平成30年度を始期とする第4期府中市子ども読書活動推進計画を策定した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>スマートフォンの普及により、ウェブからの予約の割合が増えている。</p> <p>これまでの利用者からのご意見を参考に利用しやすいホームページの作成を様々な方法で情報発信を行っていく。また、市民生活の環境変化により、市民の要望も多様化している。新たなサービスについては、PFI事業者（民間ノウハウの活用）を含め、情報収集に努めて、対応を検討していく。さらに、第4期府中市子ども読書活動推進計画に基づく事業を行い、子どもの読書活動を推進していく。</p>
今後の展開
<p>ボランティアとの協働により実施している事業については、ボランティアの充実や技術の向上がサービスに直結するので、養成講座等の継続が必要である。図書館を利用していない人に、来館し利用していただけるよう、魅力ある企画等を行い、PRしていく必要がある。</p> <p>また、平成34（2022）年9月末にPFI契約が終了することから、中央図書館の次期運営手法について、地区図書館の運営も含めて検討していく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中央図書館運営事業	▽蔵書数 907,000冊 ▽市主催事業 市制施行60周年記念特集展示、市民文化の日に合わせた講演会、夏休み「科学あそび」、小澤俊夫氏講演会ほか ▽事業者主催事業 特集展示、「本の病院」等各種講習会、朗読会、演奏会、講演会、バリアフリー映画会、ビジネス支援講座ほか	▽蔵書数 907,000冊 ▽市主催事業 夏休み「科学あそび」市民文化の日に合わせた講演会及び特集展示等 ▽農工大学准教授による講演会等 ▽事業者主催事業「本の病院」、講演会、バリアフリー映画会、演奏会、講習会、特集展示等 ▽利用者の利用状況等による、来館者数減少分析	▽市主催事業 夏休み「科学あそび」市民文化の日に合わせた講演会及び特集展示等 ▽事業者主催事業 講演会、バリアフリー映画会、演奏会、講習会等 ▽平成29年度のシステム更新に向け改善内容等検討	▽市主催事業 夏休み「科学あそび」市民文化の日に合わせた講演会及び特集展示等 ▽事業者主催事業 講演会、バリアフリー映画会、演奏会、講習会等
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
文化スポーツ部 図書館	市制60周年記念として、「むかしの府中」をテーマに特集展示、また、美術館の展覧会に合わせて特集展示を行った。講演会事業は、3回開催し好評であった。	市主催及び事業者主催の講演会等事業については、アンケート結果において好評であった。自殺予防月間に合わせて、健康推進課と特集展示を行った。また、イベントのお知らせをメール配信するなど、利用促進を図った。	市及び事業者主催の事業については、予定どおり実施することができた。また、利用者へのサービス向上のため、翌年度のシステム更新に向けて改善内容等を検討した。	市及び事業者主催事業は計画どおり実施できた。特に、開館10周年記念事業（講演会やパズル等）を実施した。また、5年ごとの図書館情報システムの更新を実施し、8月からは、市政情報センターでの図書取次を開始した。
事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	72,924			
地区図書館運営事業	▽地区図書館全館の資料の充実 ▽押立図書館の開館に向けての準備 ▽市制60周年記念特集展示実施 ▽生涯学習センター図書館の視覚ライブラリー廃止後の整理 ▽指定管理者制度導入の検討	▽地区図書館全館の資料の充実 ▽生涯学習センター図書館の視覚ライブラリー廃止後の機材と資料の整理 ▽特集展示 ▽指定管理者制度導入の検討 ▽宮町図書館の新市庁舎への移転について検討	▽地区図書館全館の資料の充実 ▽特集展示	▽地区図書館全館の資料の充実 ▽特集展示
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
文化スポーツ部 図書館	改修工事のため2月まで仮設事務所での運営だった押立図書館がリニューアルオープンした。蔵書数も増え好評である。各館特集展示も行い、読書への推進を図った。	視覚ライブラリー廃止に伴い、資料保存のため、地域資料として必要と考えられるものをデジタル化作業を行い、所蔵資料とした。全館共通及び巡回展示を行った。巡回展示は「大活字本」を行い好評であった。	地区図書館全館ともに蔵書数は微増ながら、資料は毎年購入して充実を図っている。また、各館で特集展示を行い、読書への啓発を行い、推進を図った。	蔵書数は微増で、引き続き充実を図っている。各館での特集展示のほか全館共通の展示を実施した。各館で開館10周年記念事業を実施した。YAコーナー未設置館に設置し、全館に設置できた。
事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	292,440			
レファレンスサービス事業	▽レファレンス講座1回 ▽行政向け新刊案内の作成 ▽職場内のレファレンス研修実施 8回 ▽国立国会図書館レファレンス協同データベースの参加とその活用 ▽事業者事業 OPAC検索案内	▽レファレンス講座1回 ▽行政向け新刊案内の作成 ▽職場内のレファレンス研修実施 8回 ▽国立国会図書館レファレンス協同データベースの参加とその活用 ▽事業者事業 OPAC検索案内 ▽都立図書館等のレファレンス研修参加	▽レファレンス講座1回 ▽行政向け新刊案内の作成 ▽職場内のレファレンス研修実施 8回 ▽国立国会図書館レファレンス協同データベースの参加とその活用 ▽事業者事業 OPAC検索案内 ▽都立図書館等のレファレンス研修参加	▽レファレンス講座1回 ▽行政向け新刊案内の作成 ▽職場内のレファレンス研修実施 8回 ▽国立国会図書館レファレンス協同データベースの参加とその活用 ▽事業者事業 OPAC検索案内 ▽都立図書館等のレファレンス研修参加
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている
文化スポーツ部 図書館	多様化する利用者からのニーズに対応できるよう、職場内の研修だけでなく、都立図書館等の研修にも積極的に参加している。また、レファレンス講座を開催した。	利用者からのニーズに対応できるよう、職員内でも情報の共有を行っている。都立図書館等の研修にも積極的に参加している。また、ウェブからのレファレンスも多くなってきている。	多様化するニーズに応えるため、職場内での研修はもろんのこと、都立図書館等の研修にも参加し、職員のスキルアップに努めている。また、職員内での情報共有は日常的に行っている。	利用者からの様々なニーズに応えるため、職場内での研修の実施とともに、都立図書館での研修にも参加し、職員のスキルアップに努めている。また、職場内では、レファレンス情報の共有及び蓄積を日常的に行っている。
事業種別	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業	主要な事務事業
4か年事業費計(単位:千円)	2,276			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 中央図書館運営事業	30		13,908,000	12,042,105	12,484,000	利用者の読書の楽しみや学習意欲を促進・対応するサービス運営	B	1
2 中央図書館複合施設整備等事業	30		640,417,000	640,415,375	641,501,000	中央図書館の複合施設整備等事業費の債務負担行為解消分	B	1
3 図書館維持管理事業	30		34,131,000	35,493,756	34,826,000	図書館に施設の清掃及び施設整備の保守、安全業務	B	1
4 地区図書館運営事業	30		71,935,000	70,765,326	73,667,000	利用者の読書の楽しみや学習意欲を促進・対応するサービス運営	B	1
5 レファレンスサービス事業	30		747,000	624,525	765,000	レファレンスサービスの充実と、きめ細かい読書相談の運営	B	1
6 児童・青少年サービス事業	30		892,000	739,402	641,000	子どもが本を楽しみ、読書する力を身に付けて、人生をより豊かに生きることを目的としての運営	B	1
7 ハンディキャップサービス事業	30		1,145,000	1,106,711	1,183,000	通常の図書館利用が困難な利用者に対するサービス運営	B	1
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			763,175,000	761,187,200	765,067,000			